

(別紙)

令和4年度(2022年度)北海道優良品種認定審議会 委員御意見

委員名： 関 将弘

1 北海道農作物優良品種の認定(案)について

飼料作物関係3品種系統(アカクローバ「北海19号」、とうもろこし「北交97号」、「P7948」)について、優良品種として認定することは妥当であると考えます。その上で、

・アカクローバ「北海19号」

多収で、持続性に優れることから、良質な自給飼料の生産や草地植生の維持に寄与すると考えられる一方、これまでになかった熟期帯の品種なので、「リョクユウ」や「ナツユウ」といった既存品種との使い分けなども指導していただきたい。

・とうもろこしについて

子実用トウモロコシ生産の気運が高まる中で、子実収量に着目した品種は普及拡大の大きなチャンスである。加えて「北交97号」は従来品種よりも耐倒伏性が優れており、環境リスクにも対応できること、「P7948」は乾物収量が多く、短所がないことが評価できる。

2 北海道農作物優良品種の認定取消し(案)について

飼料作物4品種について、種子供給の見通しが見えない品種や、過去5年間の種子供給実績が見られない品種が候補に挙げられている。

スムーズブロムグラス「フーレップ」およびチモシー「ホクシュウ」については、家畜改良センターの原種子生産対象品種からも外れていることから、今後の種子供給は困難になると思われる。また、「ホクシュウ」は後継品種「なつさかり」に置換えが進んでいる。トウモロコシ「たちぴりか」は根腐れ病に弱く、同熟期帯には複数品種がある。スムーズブロムグラスは5年以上、道内で種子の流通が見られていない。これらのことから飼料作物4品種については北海道優良品種の認定取消しは妥当であると思われる。

3 その他

※ 記入いただいたご意見は、原則として原文のとおり、審議会資料として配付し、ご紹介させていただきます。

(別紙)

令和4年度(2022年度)北海道優良品種認定審議会 委員御意見

委員名： 平田 靖

1 北海道農作物優良品種の認定(案)について

提案のあった9候補について、認定することに異存ありません。

2 北海道農作物優良品種の認定取消し(案)について

提案のあった14候補について、馬鈴しょ以外の品目については認定取消しすることに異存ありません。

馬鈴しょについては、シスト対策における整理がついていない現状においては、認定取り消しに関しては、今後関係機関を含めて検討・協議の場が必要と考える。

3 その他

※ 記入いただいたご意見は、原則として原文のとおり、審議会資料として配付し、ご紹介させていただきます。